

## 交渉速報 (要旨)

# 「柔軟な働き方の実現に向けた統括センターの体制見直し」に対する申し入れ

### 1. 長岡統括セ（長岡駅）でフレックスタイム制適用の拡大を実施する理由を明らかにすること。

●会社回答：ライフスタイルに合わせたフレキシブルタイムの活用により、これまでの作業ダイヤに捉われない柔軟な働き方を実現していく考えである。

組合→今回、なぜ長岡駅にフレックスタイム制（以下、F T制）を導入するのか？

会社→F T制を検討してきた。各作業ダイヤを担えるようになるのが前提である。新潟統括セも今後は検討していく。作業ダイヤの作成等、準備が整ったの提案となった。

組合→提案が遅いのではないかと？

会社→長岡花火の準備の目途が立った時期の7月の提案が最善であると考えた。

### 2. フレックスタイム制を選択できる対象の担務を明らかにすること。

●会社回答：フレックスタイム制の適用については、会社が指定するものである。

組合→長岡駅（輸送室）以外の社員が対象になるのか？

会社→そうである。社員に選択権はない。長岡駅のみで業務する社員が対象となる。長岡駅（輸送室）の社員は業務融合となるので対象外である。長岡駅以外でも働く社員も対象外となる。他の駅もF T制が導入されれば複数駅勤務者にも導入される。その想定はしている。F T制の対象外の社員は変形勤務となる。

### 3. フレックスタイム制を選択しやすい環境を整えること。

●会社回答フレックスタイム制の適用については、会社が指定するものである。

組合→ダイヤが乱れている時にフレキシブルタイム時に「残れ」と言われるのではないかと不安の声があるが？

会社→「残れ」と強い指示を会社としてはしない。他のコアタイム社員で対応していく。シミュレーションして検証している。33発動時は業務指示となる。

組合→本当にそのようにできるか不安である。F T制が適用される社員数は？

会社→実績を見て、30～40名となる。対象外の社員は100名近くとなる。

### 4. 作業ダイヤの見直しにより新たな業務に従事する社員教育を徹底すること。

●会社回答：作業ダイヤの見直しに向けた、必要な教育・周知等を実施しているところである。

組合→作業ダイヤが変わるが見直し必要はあるのか？

会社→統括セの発足後、環境の変化や社内ツールの変化もあり、F T制とは別にダイヤを見直すこととなった。出札の代務、放送管理の代務の作業ダイヤを1本見直した。代務社員がシッカリ担っていくことになる。

組合→見直しにより新たな教育はあるのか？

会社→ない。改札はホームの状況を確認しづらくなるので、把握できるモニタの増設を考えている。

### 5. 2024年度末ダイヤ改正において庄内統括センターおよび新津乗務室では運転士行路と車掌行路の一本化を行わず車掌専属交番を残すこと。

●会社回答：経営環境の変化に対応していくため、社員の活躍フィールドや業務領域を引き続き拡大し、業務融合を推進していく考えである。

組合→一本化はまだ早いと考える。車掌の要員が足りない中である。将来、車掌はどうなるのか不安の声がある。

会社→将来の鉄道オペレーションを維持するためである。教導や企画業務で残る車掌もいる。今後は駅業務・輸送業務を担うことになる。早めに説明して、面談等で丁寧に行っていく。